

# verde

「verde」とは、ポルトガル語で「緑の」という意味です。



ベルジ箕輪

ベルジ株式会社 有料老人ホーム ベルジ箕輪  
発行責任者 専務取締役 大久保健司  
支配人 高木 正幸

〒370-3104 群馬県高崎市箕郷町上芝 839-4  
Tel 027-371-6610 / Fax 027-371-6613  
E-mail [minowa@e-verde.co.jp](mailto:minowa@e-verde.co.jp)  
URL <http://www.e-verde.co.jp>

ホームページにてブログも更新しております。そちらも是非ご覧ください

# 5月の出来事

## 本館の畑



太陽がキラキラとしてくると野菜がグングン成長するようになります。今年は畑を7階のベランダに設けました。プランターに土を入れ、土の香りが鼻孔に届き、手を泥だらけにしながら苗の根をほぐす皆さま。夏のような青空に野菜の苗が「う～ん」と背伸びをしたように思えました。



## ドライブ



お花畑が箕輪に出現したという情報を聞きつけ、本格的に暑くなる前に見に行くことに。一面に広がる小さな愛らしいお花に「まあ～綺麗なこと」「なんていうお花？」と聞かれ『瑠璃唐草』っていうみたいですよ」と看板を指さすと「青いお花だからネモフィラだと思ったわ」と皆さま。帰って調べたら「瑠璃唐草」はネモフィラの和名。不勉強失礼しました。



## 薔薇風呂

今月のイベント風呂は『薔薇風呂』職員が自宅で栽培している色とりどりの薔薇を朝摘みして持ってきてくれ、大きな薔薇の花や見たことない形の薔薇が浮かんだお風呂に浸かって「すごい好い匂いよ」と湯上りのお肌ぴかぴかの皆さまがご報告下さいます。洋薔薇の高級感でプチ贅沢気分であれば幸いです。



# 母の日

真っ赤なカーネーションで施設をデコレーションして母の日をお祝い。ご家族様からも素敵なカーネーションの花束が届き、フリルが幾重にも重なったような華やかな花をまじまじと見ていると「あんなに見たら穴が開いちゃうよ」と皆さま。笑った後は「しかし綺麗だね」と感動を共有しました。



# あやとり

手指運動に「あやとり」をすると、普段はあまり意欲的でない皆さまが率先して取り組んでくださるといふ驚きを与えてくださいました。「とって」毛糸に指を入れ「ほら、つづみ」と見せてくれ「これが、つり橋」と技を次々に披露。「懐かしいね」と笑顔。あやとりが続くと注目の的になり「昔よくやったもん」どこか誇らしげな笑顔でした。

# 感染症研修

協力医療機関である榛名荘病院の感染管理認定看護師を講師にお迎えし、感染症発生時の対策として手指消毒のやり方やガウンテクニックの研修を行いました。普段おこなっていることですが、外部講師によりご指導いただくことで気付きがあることが研修の本意です。



# 創立記念日

昭和63年6月1日にベルジ箕輪は開設いたしました。その日から、がむしゃらに地域社会に貢献するよう務め、多くのご入居者様が憩う家として今日も営むことが出来ております。38年もの歴史を築くことができましたのも、地域、行政そして多くのボランティアの皆様のご支援とご協力の賜物と、心より感謝申し上げます。これからも、地域のニーズや地域福祉の重要性を大切に、創立時の理念の本質は変わることがなく、挨拶や笑顔での対応を基軸に職員一同心を新たにして皆様に毎日笑顔で楽しくお過ごしいただけるよう、一層努力していく所存でございます。今後とも、皆様の益々のご指導、ご鞭撻の程何卒よろしくお願い申し上げます。

令和7年6月1日 ベルジ箕輪 職員一同

# 月間行事予定



mon	tue	wed	thu	fry	Sat	Sun
						1
2 14:00 映画	3 14:00 映画	4 14:00 編み物	5 14:00 映画	6 14:00 書道	7 14:00 映画	8
9 14:00 映画	10 14:00 映画	11 14:00 編み物	12 14:00 映画	13 14:00 書道	14 14:00 映画	15 10:30 空手演舞
16 14:00 映画	17 14:00 映画	18 14:00 編み物	19 14:00 映画	20 14:00 書道	21 14:00 映画	22
23 14:00 映画	24 14:00 映画	25 14:00 編み物	26 14:00 映画	27 14:00 書道	28 14:00 映画	29
30 14:00 映画	1	2	3	4	5	6 

## 編集後記

田植えの季節になりました、まだ水田が多く残るこの地域では、この季節になると蛙の大合唱が聞こえ、やがて雨が降ることを教えてくれます。窓に近寄り空を見上げると今にも零れ落ちそうな曇天、ぴゅうと冷たい風が吹き込み「降るか」窓をピシャリと閉め、衣替えで露出したまだ青白い腕を摩るそんな日、入居者様の視線を集めるテレビでは令和の米騒動が古古古米という新しい言葉を生み出し、賑わっていました。しかしながら米離れが叫ばれていたのではないかと違和感も拭えず、まして世の中にはお米が足りていないのかと問えば、今もなお食品が大量廃棄されているそう。高価だと吐露する人ばかりが注目されている情報の偏りにも嫌悪感を抱き、昔から良いものは高価だったのではないかと異論する。値段に右往左往するのではなく、安易に廃棄をしてしまう、社会の膿を是正するよう政治が取り計らってこないだろうかと期待するが、人々に平等に欲しいものが手に入る社会への画期的な情報は今日もまだ聞こえてこない。米大臣を揶揄する前に、米や塩、古から貴重なものをぞんざいにしないで欲しいと願う。